

公衆無線LAN(Wi-Fi)の適切なセキュリティ対策について

公衆無線LAN(Wi-Fi)は大変便利ですが、適切なセキュリティ対策を行わずに提供すると、利用者の通信内容が盗聴されるなどの危険性があります。

公衆無線LANのセキュリティ対策が適切でないとき…

- ・ 通信内容が盗聴されたり、のぞき見されたりして、重要な情報が盗まれる
- ・ ウイルス感染被害や不正アクセスの被害に遭い、保存されている情報を盗まれる

情報が悪用
される可能性

適切なセキュリティ対策

○ 不正利用防止のために…

- ・ 次のいずれかの利用者認証方式を導入する
 - ☑ SMS連携方式
 - ☑ SNSアカウントを利用した認証方式
 - ☑ 利用していることの確認を含めたメール認証方式
- ・ 1回の接続による利用時間や利用可能エリアを制限する
- ・ 利用者状況を把握するため、周辺に防犯カメラを設置する

○ 利用者の安全確保のために…

- ・ 公衆無線LAN端末同士の通信を遮断する
- ・ 違法・有害情報に対するフィルタリングを実施する
- ・ 利用者に適切な情報(利用条件や暗号化の有無等)を開示する

○ 万が一悪用された時のために…

- ・ 通信記録(アクセスログ等)を1年程度保存する



公衆無線LANを提供する自治体及び事業者の方は、適切なセキュリティ対策を講じて悪用を防止しましょう。